

第8回 日本語教育研究会

テーマ	「中国語話者の日本語習得上の問題点」
講師	兪 晓明(北京語言大学外国語学院教授)
日時	6月24日(金)4時限目(15:10~16:40)
場所	G号館 323

講演概要

中国語話者の日本語習得上の問題点を考える際、まずこの命題における問題点という言葉の表す意味・内容を明確にしておく必要があるだろう。なぜならば、その中には、学習者の日本語習得を妨げ、いろいろな間違いや誤用を引き起こすものもあれば、習得の妨げにはなるが、直接誤用などの現象に関係せず、ただ単に学習者を悩ませるものもあるからである。また、これらの問題点の詳細(内訳)、発生の原因と背景および特徴などについても改めて整理・吟味することが必要であろう。このような検討を踏まえたうえ、多くの具体例を取り上げ、特に「二系列」現象を中心に、様々な角度から考察を進めていきたい。そして、以上の作業を通して、問題解決のための対策や日本語教育への提言を試みる。

講師略歴

中国・東北師範大学外国語学部日本語学科を卒業後、同・大学院日本語日本文学科修了(文学修士)。その後来日し、岡山大学大学院国語国文学科修了(文学修士)、岡山大学大学院文化科学研究科修了(学術博士)。1988年以来中国の大学で日本語教育に従事し、東北師範大学・大連外国語大学を経て、2005年より北京語言大学に着任(現職)。主な研究分野は、日本語学、中日対照言語学、日本語教育。
主な業績:『現代日本語の副詞の研究』大連理工大学出版社、1999「关于“程度”与“频度”——否定句中“ほとんど”“あまり”的语义功能分析」《外语与外语教学》1999-7
「论日语的连体修饰结构——以“动作主体潜在句”为中心」《日语学习与研究》1999-4
「试析日语拟态词的“并列谓语句”现象及其功能特征」《日语学习与研究》2001-4
「再论“デ／ニ”两用型“形容词”」《日语研究》1, 2003
「论“副詞+N+N+N”的结构和语义关系」《日语学习与研究》2004-4
「语义与语篇分析——关于表示并列意义的「テモ文」」《外语与外语教学》2005-3
「(時間数詞)ぶりにV」構文に関する一考察——「初めて」との共起関係を中心に」『岡大國文論稿』35, 2007
「日本語の「重言」をめぐって——その使用実態調査の結果に基づいて」《日本語言文化研究》8, 2008
「再出發系構文と複合動詞——「やり直す」を中心に」『北研學刊』5, 2009
「日本語への類型論的アプローチ——中国語との対照を通して——」『東アジアの窓』4, 2010